

実質化された人・農地プラン

〔注：本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
中能登町	越路南部地区(徳前・浅井、芹川)	令和3年3月25日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	63 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	33.39 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	30.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	24.89 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

担い手は十分確保できているが75歳以上の後継者未定の農業者の耕作面積が24.89haであり、新たな農地の受け手の確保が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

JAが進める能登米の取組による高付加価値化や低コスト化を進め、地域の中心経営体へ農地を集積する。